

いちばんぼし

第3学年

H30.5.21

NO.4

短歌でたどる沖縄の旅 修学旅行

- ・【出発】 カチカチと 進む時計が ワクワクに
心はずむ 時間になった K
- ・【出発】 ワクワクし 期待を背負い 輝いて
目をこすって あくびをする朝 W
- ・【出発】 集合は 5 : 5 0 早いのに
アラームよりも 早起きをした M
- ・【行きの飛行機】 雲高く みんなの上を 飛び越えて
周りを見ると もう何もない K
- ・【行きの飛行機】 たくさんの 不安を乗せて 飛び立った
初めての空 ゲンゲンのぼる H
- ・【平和の礎】 沖縄戦 二十四万 命落とす
改めて思う 命は宝 T
- ・【平和の礎】 忘れない 伝えていこう あの涙
二度とさせない 二度と泣かない Y
- ・【平和の礎】 「誓います」 石碑に書かれた 人たちの
その場に響く 平和宣言 O



- ・【平和の礎】 広場を見た 海の景色は 美しい
でもなんだか せつなく感じた H
- ・【平和祈念館】 沖縄へ 来たから知れる 新事実
見ているだけで 心打たれる K
- ・【平和の礎】 祈るため 訪れたここ 平和の地
祈り足りない 人々の死を O
- ・【平和の礎】 沖縄を 海を見守る 犠牲者は
毎日願う 平和の誓い W
- ・【平和の礎】 刻まれた いろんな名前 「対島」の字
心しんみり 苦しくなった T
- ・【平和祈念館】 沖縄の 天気と人は あたたかい
沖縄の歴史は 体が震えた M
- ・【平和祈念館】 沖縄戦 大変だったと 思い知り
戦争はもう しないでほしい T
- ・【平和祈念館】 数々の 悲惨な光景 焼き付けて
今日から進む 平和の一步 H
- ・【平和祈念館】 祈念館 礎が語る 悲壮感
暗くて怖い 洞窟の中 F
- ・【平和祈念館】 雨の音 消えない思いと 銃声が
心の中で 響き渡る T
- ・【壕(ガマ)】 暗い場所 明かりなしでは いたくない
そんなガマに 隠れていたこと O
- ・【壕(ガマ)】 沖縄戦 かなしみすごく あふれてる
ガマの景色に ホタル光りつつ T
- ・【壕(ガマ)】 ガマの中 ぽつんと置いてる お茶碗は
帰らぬ人を 待っているよう K
- ・【壕(ガマ)】 ガマの中 話し続けた おじいさん
なくしちゃいけない 沖縄の歴史 H
- ・【壕(ガマ)】 鉄の雨 降る中にガマ 逃げ込んで
暑苦しい 暗い闇の中 M
- ・【壕(ガマ)】 暗闇に 身をひそめてる 蛍たち
光り輝く 蛍の背中 K
- ・【壕(ガマ)】 ガマの中 明かりがないと 真っ暗だ
暗さが語る 戦争のつらさ T
- ・【壕(ガマ)】 真っ暗な ガマの中には 冷めた岩
かすかに灯る ホタルの光 S



- ・【壕(ガマ)】 ポタポタと 雨が降る降る ガマの前
沖縄戦は 鉄の大雨 I
- ・【壕(ガマ)】 ガマの中 戦争の日々 感じれた
暗闇の中の たくさんの夢 K
- ・【壕(ガマ)】 暗闇で かすかに聞こえる 虫の声
苦しむ人は 今でもまだいる N
- ・【壕(ガマ)】 ガマの中 寒くて不安 だったが
初めて知った 戦争のこわさ Y
- ・【壕(ガマ)】 暗闇で そっと目を閉じ 感じ取る
忘れちゃいけない かなしい出来事 H
- ・【壕(ガマ)】 暗闇で つらさを知った 雨の中
心の中に 大雨が降る H
- ・【壕(ガマ)】 ガマの中 落とした命 暗闇で
悲しみあふれ 雨降り続く O
- ・【壕(ガマ)】 電灯を 消すガマの中 戦争の
つらさ悲しみ 漂わせてる K
- ・【壕(ガマ)】 暗闇の 中に潜んだ 人たちが
いたこと絶対 忘れちゃいけない K
- ・【壕(ガマ)】 雨の中 ガマに学んだ 戦争を
昔は振って いた鉄の雨 A
- ・【壕(ガマ)】 暗い中 真っ暗闇で 聞いている
沖縄であった 悲惨なことを S
- ・【壕(ガマ)】 ガマの中 多くの人の 悲しみが
いっぱい詰まった この洞窟で I
- ・【壕(ガマ)】 闇の中 ライトを消して 目を閉じる
僕に重なる 当時の様子 E

- ・【壕(ガマ)】 ガマ入り みんなの笑顔 なくなった
お外に出ると 空が泣いてた K
- ・【壕(ガマ)】 ガマの中 聞こえているのは 雨の音
だけど感じる 苦しみの声 K
- ・【壕(ガマ)】 ガマの中 いろんな声が 聞こえてる
思いを連れて 未来へ進む S
- ・【壕(ガマ)】 暗闇で 肌で感じた 悲惨さを
受け継いでいこう “命どう宝” I
- ・【壕(ガマ)】 ガマの中 入った瞬間 真っ黒で
奥にポツンと しずくが落ちる M
- ・【入村式】 ハイサイ!と あいさつ飛び交う 村役場
ハイビスカスも 咲くやこの花 M
- ・【入村式】 三線や ゆかいな踊り 歌声が
みんなを笑顔に 自分も笑顔 I
- ・【入村式】 バス降りて 耳を澄ませば 楽器の音
尼にない音 沖縄の音 I
- ・【入村式】 三線の 音と一緒に 踊りだす
あの時よりも 仲良くなれた T
- ・【民泊】 あたたかく 迎えてくれた 村の人
いつかどこかで 会えるといいな A
- ・【民泊】 不安だな そんな気持ち どこ行った
いちゃりば家族 出会えば家族 S
- ・【民泊】 こわそうな おじいと暮らし 優しさを
知り瞬く間 過ぎ去る時間 I
- ・【民泊】 ぼくたちと 楽しんだあの 時いまも
家族のように 思えるじいじ N
- ・【民泊】 はじめまして 新しい家族に さようなら
あっという間に 過ぎ去る時間 T
- ・【民泊】 遊んで 作って 笑う いつも 乾夏萌
- ・【民泊】 じいやばあや いちゃりば家族 出会ったら
みんなでワイワイ 別れ悲しむ T
- ・【民泊】 あじいおばあ よい思い出を ありがとう
帰ってくるねと 大きく手を振る I
- ・【民泊】 初対面 優しいおばあ 笑顔だった
気がつけばもう いちゃりば家族 T
- ・【民泊】 水平線 じっと見つめる おばあちゃん
その目の先に 何が見えるの? K